



やるき
ほんまき
き
さ
き

木佐木

神奈川県議会議員
日本共産党

2024.4.10
木佐木ただまさ news
発行：党横浜北東地区委員会
横浜市鶴見区潮田 3-147-6
TEL：045-511-1021

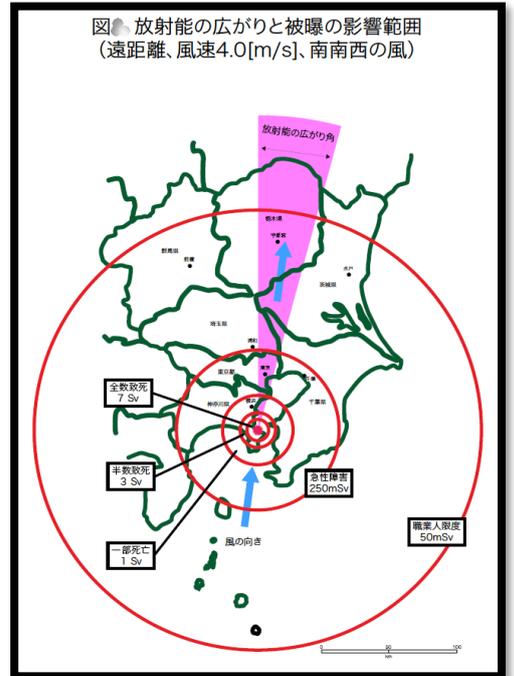
Profile
▶1984年山口県出身
▶鶴見区馬場在住
▶神奈川大学法学部卒
▶よこはま健康友の会会長
▶横浜東民商顧問

第2の基地県と言われる神奈川 知事の基地に対する姿勢転換を

原子力災害に無為無策！？

早急な避難計画策定を

さらに原子力軍艦の防災対策の質問については、国の責任のもとで統一的に定められた計画、マニュアル等に沿っているとのことでした。しかし、日本の原発では万が一の事故の際に半径5kmと半径30kmの範囲で、住民の避難計画を策定することが義務付けされていますが、原子力空母の場合は半径1kmが避難、半径3kmは屋内退避となっており、避難の対象範囲があまりにも小さい状況です。そのため住民の具体的な避難計画すらありません。福島第1原発の1号機と同規模の原子炉を積んでいるにも関わらず、このような対応で十分としている姿勢は、県民の安全を守るという視点が欠けていると思います。このような姿勢を改めるように求めます。



出典：原子力資料情報室



反対討論の様子はQRコードから↑

3月25日、最終日を迎えた県議会では2024年度議案の採決が行われ、井坂新哉県議(横須賀市選出)が反対討論に立ちました。今回は知事の米軍基地に対する姿勢への部分をご紹介します。

事実上の母港化を見逃ごすな！

今年の後半に横須賀に配備されている原子力空母ロナルド・レーガンが、リニューアルされ、近代化された原子力空母ジョージ・ワシントンに交代することが発表されています。これで、原子力空母の交代は2度目となります。質問趣意書で原子力空母の配備撤回を国と米軍に求めるよう質問したことに対して、知事は、配備の撤回を求めることはしないとの答弁でした。県に決定権がないにしても、米軍基地の整理・縮小・返還を県是とする知事であるならば、原子力空母の配備撤回を求めることはできるはずです。このような姿勢を改めるべきです。

